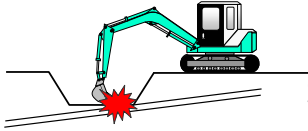
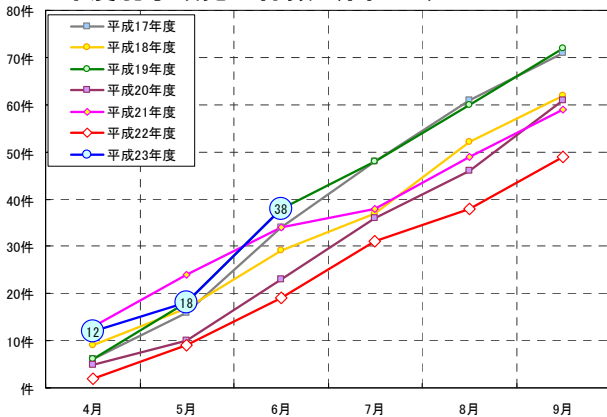


# 地下埋設管に係る事故が急増!!



6月27日時点(速報値)の事故件数が38件と、昨年の19件から大幅に増加しています  
特に、平成23年度の事故防止重点対策項目にも挙がっている「地下埋設管事故」は、6月末時点で平成22年度年間の発生件数(15件)の半分以上を越える8件発生しています。

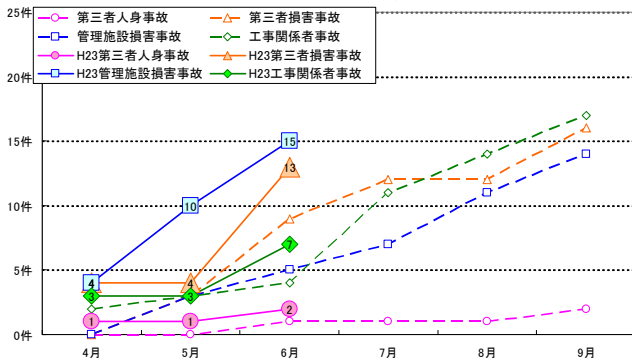
年度別事故発生件数 (図-1)



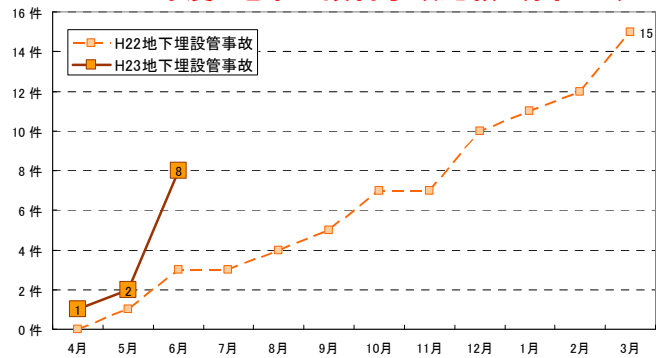
4~6月期の事故発生状況

- 6月末時点で38件の事故が発生。**過年度で最多のH19年度に並ぶ発生状況。**(図-1)
- 全ての事故分類が昨年度を上回る。(図-2)
- 管理施設損害事故が10件増加し15件、第三者損害事故が4件増加し13件となっている。事故全体における公衆災害事故の比率が約81%と、例年の70%程度から大幅に増加。
- **地下埋設管事故**が平成22年度の年間発生件数の15件を大きく上回るペース。(表-3)

H22・23年度 事故分類比較(図-2)



H22・23年度 地下埋設管事故比較 (図-3)



## 【事件事例】

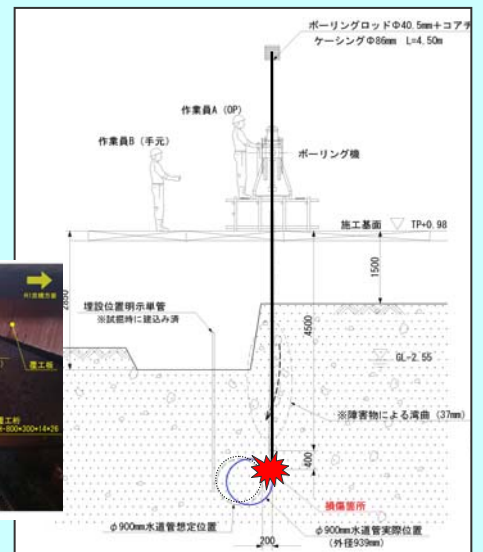
### 上水道幹線の連絡管(φ900)を損傷

**事故概要：** 事前に水道管理者の資料を元に、水道管を避けて調査ボーリングを実施していたところ、実際の埋設位置が想定位置からずれていたため、ボーリングビットが連絡管に接触し、大量の漏水が発生した。幹線の連絡管であったため、一般家庭の断水は生じていない。

**事故原因：** 覆工桁受の影響で試掘が困難だったことから、屈曲部の試掘をせずに図面位置を過信し施工した。

#### 《防止対策案》

埋設管が予想される場合、十分な試掘調査を実施し、埋設管の位置を把握すると共に、慎重な作業を徹底する。



**地下埋設管に隣接して作業を行う場合、**  
**①管理者との協議、②試掘等事前調査、③慎重な作業を徹底する。**

# 草刈り作業時の事故に注意!!

草刈り作業において、重点対策である『飛び石事故』に加え、観測施設(ケーブル)の損傷事故が発生しております。資格も不要で容易に扱うことのできる草刈り機ですが、十分な準備と作業手順を徹底し、事故の発生を防止しましょう。



## 草刈シーズンを迎え、草刈り機による事故が頻発!(事故事例)

### 飛び石により民家窓ガラスを損傷

(事例① 平成23年6月発生)

河川堤防の堤内地側を自走式草刈機にて草刈作業をしていた際、刈刃を回転したまま方向転回しようとしたため、刈刃が法面に接触し、隣接する民家(約12m)の2階窓ガラスが飛び石で破損した。

#### 〈防止対策案〉

- ・ 方向転換において、  
①周辺に民家等のない安全な場所を定め、②刈刃を停止させる事を徹底する。



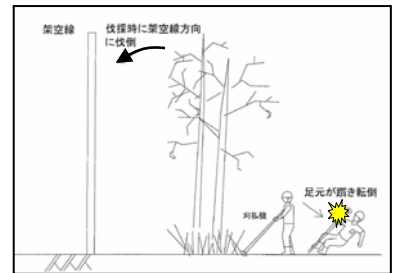
### バランスを崩した作業員が草刈り機で負傷

(事例② 平成23年6月発生)

肩掛け式草刈り機での竹林の伐採作業中、伐採材が架空線に倒れかかったため、反対方向に竹を引っ張ろうとした際に、竹株に足を引っ掛けてバランスを崩し、草刈り機の刃で右腕を負傷した。

#### 〈防止対策案〉

- ・ 作業計画を見直す(補助者の配置、機械選定等するなど)。



### 草刈り機で水文観測用ケーブルを切断

(事例③ 平成23年6月発生)

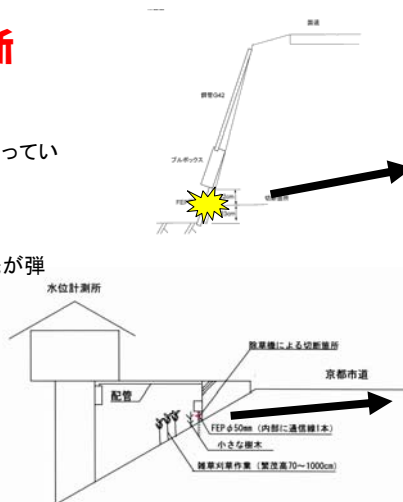
自動流量計の点検のため、超音波センサー周辺の除草作業を行っていたところ、肩掛け式草刈り機で草に隠れていたケーブルを切断した。

(事例④ 平成23年6月)

橋台周辺の除草の際、小さな樹木に刈刃があたった反動で、刃先が弾かれ、草に隠れていた通信ケーブル(FEP管)の露出部を切断した。

#### 〈防止対策案〉

- ・ 事前調査を実施し、支障物件を把握・明示する。
- ・ 支障物件周辺は手刈りで行う。



## 《速報》

今年度最初の熱中症発症が報告されています。



#### 【事故概要】

平成23年6月13日14:30頃、建築工事において、掘削基面で配筋作業中の作業員(17歳・現場従事初日)が体調不良(寒気、手足の震え)を訴え、搬送。点滴で回復。(休業0日)

現場: 気温 28℃ 湿度 70%

休憩所に扇風機、冷水器・飴等を常備、予防教育も実施。

## ～ 熱中症の症状 ～

下記の症状を確認したら、躊躇せずに病院で診察を受けましょう

- 熱射病**……体温上昇のため中枢機能に異常を生じた状態で、**意識障害**
- 熱けいれん**・大量にあせをかき、水だけを補給して血液中の塩分濃度が低下した時に、足、腕、腹部の筋肉に痛みを伴った**けいれん**がおこる。
- 熱虚脱**……皮膚血管の拡張による循環器不全で脈が速くて弱く、呼吸回数の増加、顔面蒼白、血圧低下、一過性の**意識喪失**などがおこる。
- 熱被はい**……脱水や塩分の不足による症状で、脱力感、**倦怠感**、めまい、**頭痛**、**吐き気**などがみられる。

## 7月1～7日は『全国安全週間』です

平成23年7月1(金)～7日(木)は全国安全週間(主唱:厚生労働省、中央労働災害防止協会)です。

全国安全週間は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。

昭和3年に第1回が実施されて以来、一度も中断することなく続けられ、本年で第84回を迎えます。

この機会に職場における労働災害防止活動の大切さを再認識し、積極的に安全活動に取り組みましょう。

#### 《スローガン》

安全は家族の願い 企業の礎 創ろう元気な日本